

小学校の再編及び安全管理



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

問 令和8年4月開校予定の泉統合小学校の進捗状況について。

答 日吉、宇仁、西在田、泉の4小学校の保護者代表、地域代表、学校長に集まっていたが、4月25日に第1回の開校準備委員会を開催しました。学校名の募集に関する事、統合小学校の改修工事に関する事、スクールバスに関する事について協議しました。

問 スクールバス運行の考え方について。

答 泉統合小学校だけでなく、他の統合小学校や統合中学校、病院移転等も踏まえ、市全体のバス運行の検討を進める必要があります。また、泉統合小学校のスクールバス運行経路については、できるだけ集落に近い乗降場となるよう路線を考案します。バスが安全に通行できる道沿いで、児童が集まりやすく安全に乗降できる場所を選定していきます。

問 小学校の跡地利用について。

答 まずは事業者のニーズを把握するため、聞き取り調査を行います。周辺人口や道路状況など、各学校で立地条件が異なるため、活用用途を決めずに広く可能性を探ります。一方で地元の意向も重要ですので、区長会や学校施設を利用している団体等の意見も聞いた上で、民間需要とすり合

わせ、基本構想的な学校施設活用案を学校ごとに提示します。それに基づいてプロポーザルなどの実施を考えています。

問 5月のタウンミーティングで、安全対策として富田小学校のブランコ周りの柵の設置、運動場西側の山の木の伐採及び朽木の撤去等要望があったが、その対応について。

答 ブランコの柵は、ブランコを利用する児童とその周囲で遊ぶ児童との衝突を防ぐ上で必要なもので、他の学校の状況も調査し、可能な限り早期に整備します。運動場西側の樹木の伐採については、現地を確認したところ、運動場への落下が想定されることから、業者に発注して夏休み期間中に伐採を行う予定としています。

誰もが自信を持って生きていける加西市に



橋本 真由美 議員
(清流会・かさいを育む会)

問 障がい者・障がい児福祉における加西市のビジョンは。

答 障がいのある人の多様な個性が輝く、誰もが安心して暮らせるまちづくりを基本理念に掲げ、互いに支え合う地域社会づくりを目指しています。

問 ゆりかごから墓場までの支援をコンセプトにされている施設を視察したが、利用者に寄り添い、利用者の幸せを追求されていた。行政として一人一人の各ライフステージにおける一体的な支援をどう考えるか。

答 障がいのある方が生まれ育った住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせるよう、県内外の先進的な事例の情報収集に努め、加西市の地域性を踏まえた重層的な福祉サービスを構築したいと考えます。

問 受けるべき支援を必要な時期に受けるには、早期発見が非常に重要だ。5歳児健診についての検討はどうなっているか。

答 発達特性を持つ子供が必要な支援を受け、そしてスムーズな就学を支援する目的のもと、加西市においても令和7年度から集団健診方式での実施を目指し、調整を開始しました。先進地を視察し、具体的な実施方法について健診前後の連携を含めた検討を重ねています。小児科医や心理士など専門職種の監修も受け、職員研修や健診前後の支援体制を整備す

る等、意義ある5歳児健診の実施に向けてさらに調整を進めます。

問 障がい児支援施設利用の金銭的負担軽減について。

答 令和5年度の放課後等デイサービスの利用者は90名です。複数の事業所の利用や学童保育との併用など利用形態は多岐にわたります。放課後等デイサービスは原則1割負担で月額上限があり、また学童保育は月額6,000円の負担となっています。併用されている場合は相応の負担があると認識しています。費用負担の在り方については、関係機関とも今後一層の協議を重ねていきます。

■その他の質問項目

- ・高齢者福祉（支給されるごみ袋のサイズについて等）
- ・学校再編（制服について等）